

(件名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書

(陳情の趣旨)

地元の同級生が鹿児島サバイブ実行委員会を立ち上げ、この主張に私も賛同しました。

彼も私も小学生の子供がいます。今を生きる大人の責任として、未来の子供達に負の遺産を残してはいけません。

ワクワクする誇れる鹿児島を繋ぎたい。賛同している同世代は皆、同じ気持ちです。

自主財源36%。鹿児島の負債額1兆4599億円。20年後には、国分市、始良市、川内市を足した人口に匹敵する30万人、人口が減ります。今、無計画な箱モノに莫大な血税を投じ、毎年2億円以上の赤字を垂れ流しても、これから超少子高齢化社会で高齢者を支える若者達から、もつと税金を絞り取る予定だから大丈夫とお考えですか。

自民党の〇〇〇〇文教観光委員長が9億円もする設計費を容認して、後に9億円が無駄になったとしても、独身税や消費税が12%上がるだろうから、財源はこの先もどうにかなるとお考えですか。

この事業の議論の中で経済効果の話がでてきますが、県議会議員の皆さんは、年間50億円の経済効果の根拠を信じているのですか。私はNHKの記事を読み驚きました。

民間企業のプロジェクトでこんな試算をプレゼンされても「もっとまともな試算を出してこい」と誰も納得しないと思います。

一部の人達が潤うだけの、ブランディングのない計画が容認されようとする鹿児島県議会。

未来に生きる若者達のことなど、どうでも良いのですか。であるならば、鹿児島県議会を解体すべきです。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

1. 未来の鹿児島を創造できない鹿児島県議会を解散させ、県民に信を問う県議会議員選挙の実施を強く望みます。